

(別紙4(2))
目標達成計画

事業所名：グループホーム 北杜の郷
 作成日：令和 2年 5月 1日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	・介護支援専門員が立案した介護計画を家族の同意を得て、職員に周知徹底していた。情報量が少なく、もっと効果的にすべきである。	・各利用者のニーズに沿ったアセスメント、介護計画書が立てられる。 ・職員が個人の計画を理解し、適切なケアを提供できる。	①入居されてから、本人の様子や今後についてを介護支援専門員・介護士・看護師でカンファレンスを行い、入居者個人に沿った介護計画書を作成する。 ②介護計画書を家族へ説明、同意。(情報の共有) ③介護計画書をスタッフが閲覧しやすいところに設置。 ④ケアカンファレンスを継続的に実施。(ケアの統一に繋げる)	12ヶ月
2	10	・地域推進会議に利用者家族代表が参加しているが、全体の意見が十分に聴取されていない状況である。	・入居者の家族全体の意見を聴取できる機会を設け、ケアや運営に反映していく。	①地域推進会議の家族代表を定期的に交代する。(年2回) ②新ユニットの家族代表が選出されていなかったため、依頼し参加してもらう。 ③面会時に管理者やケアマネが個別に面談を行い、意見や要望を受ける機会を設ける。 ④面会に来れない家族(遠方や後継人)へは、施設での様子を発信することで意見を聞く。	12ヶ月
3	35	・地域住民の協力、災害時の備品関係などの緊急時の安全確保に欠けていた。	・災害時、緊急時など地域との協力体制ができる。	①地域推進会議を活用し、災害時・緊急時などの情報交換を行う。 ②地域の消防団や地域住民との情報交換を行う。(避難場所など) ③社内の災害時緊急連絡網を作成する。 ④災害時の備品関係などの在庫の確認と確保を早急に行う。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。